

NSF、IGERTプログラムの下で実施される事業 18 件を新たに選抜 (9 月 4 日)

米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) は、①学際的経歴、②専攻分野における深い知識、③将来必要となる技術的・専門的・個人的技能、を兼ね備えた博士課程の科学者・エンジニアを育成するという課題に応えるために、大学院教育の新たなモデルを確立することを目的とした「統合的大学院教育研究研修生制度 (Integrative Graduate Education and Research Traineeship : IGERT)」プログラムの下、博士課程の学生を対象とした変革的学際的・研究・教育事業 18 件を選抜したことを発表した。

IGERT プログラムでは、コミュニティ主体で学際的な最先端研究を実施することとなっており、今年選抜された事業は、ビッグデータ、バイオ製造、高度生産、ナノテクノロジー、エネルギー、持続可能性など、国家的優先事項とされる重要研究分野に取り組むこととなる。

なお、今回新たに選抜された事業の研究責任者の中には、1989 年のノーベル化学賞受賞者でコロラド大学ボルダー校 (University of Colorado, Boulder) 教授のトーマス・チェック氏 (Thomas Cech) が含まれている他、現在までに IGERT プログラムに参加している 123 組織に加え、今回テュレーン大学 (Tulane University、ルイジアナ州) やワーチェスター工芸研究所 (Worcester Polytechnic Institute、マサチューセッツ州) を含む 5 組織が、初めて同プログラムに参加することとなっている。

National Science Foundation, NSF Interdisciplinary Program Takes on Critical National Research Priorities

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=125323